

みんなで築こう 人権の世紀

身近なことから人権を考えてみませんか

「見守り隊」の活動で

私は、登校日には地域の小学生の集合場所に行くことを日課としています。集まってくる子どもたちとあいさつを交わしていますが、時にはあいさつが返ってこないことがあります。そんなことがあっても声を掛け続けています。その日の子どもたちの気分や体調が分かる気がします。

また、「見守り隊」の活動として、登校する子どもたちの列に付き添うことがあります。子どもたちのことですから、ふざけたり、話に夢中になったりして、きちんと並んで行く日ばかりではありません。登校班の子どもたちは1年生から6年生までいます。入学当初は1年生の子たちは6年生の班長さんについていくのが大変な様子でした。顔に汗をにじませながら、前を向いてひたすら歩いていきます。

そんなある日、登校班内の子から「班長さん、1年生が大変そうだから、もう少しゆっくり歩いてください。」と声がかかりました。班長さんは「あ、気が付かずにごめん。」と言って歩くスピードをゆるめました。私はこのやりとりを見ていて、感激してしまいました。入学したばかりの1年生の様子に気を配る班内の上級生、その日の1年生の様子に気づけなかった班長さんも、すぐ1年生に配慮してゆっくり歩き始めました。班での登校を通して、「思いやること」を学び、実践している子どもたちに接して、朝のすがすがしい気分が倍加しました。「見守り隊」に参加していなかったら、この気分は味わえなかったことでしょう。



【人権に対するお悩み・お問い合わせ】

福祉課内 人権擁護委員会事務局 (☎ 64・7104)

清流の国ぎふ森林・環境税の活用について

外来生物（ジャンボタニシ）駆除の実施における地区助成事業を行っています。

安八町では、以前より、各地区に依頼して外来生物（ジャンボタニシ）駆除を行い、水稻被害を抑制していただいております。そこで平成27年度の「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用して、小・中学生の参加を促して住民の皆さんと協働で、ジャンボタニシの駆除を地区内一斉に行っています。

住民が生物多様性、水環境の保全について認識を図るとともに、小・中学生の参加を促し、環境保全について知識を養うことを目的としています。



▲結地区でのジャンボタニシ駆除の様子



100年の森づくりリレー引継ぎ式

全国育樹祭に向け、西濃地域を巡るスギの丸太の引継ぎ式を行いました。

8月22日（土）役場東玄関前にて第39回全国育樹祭に向けた「100年の森づくりリレー引継ぎ式」がありました。関ヶ原町で伐採された樹齢約120年のスギの丸太を、輪之内町から引継ぎを受け、23日（日）には神戸町へ引継ぎました。

当日は保育園児や式典参加者による丸太の木曳きや、町内在住の小川さん3世代による「森づくり宣言」、和太鼓サークル「美濃乃国水郷太鼓」による和太鼓披露なども行われました。



▲式参加者による木曳きの様子